

CASBEE[®]-戸建(新築)

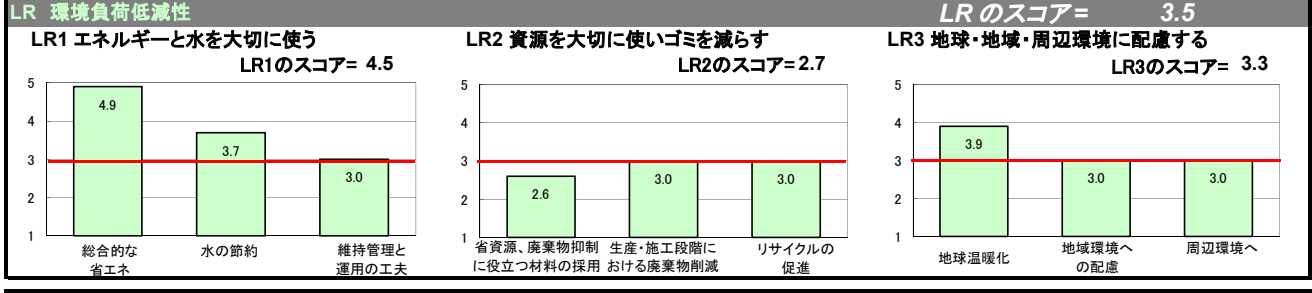
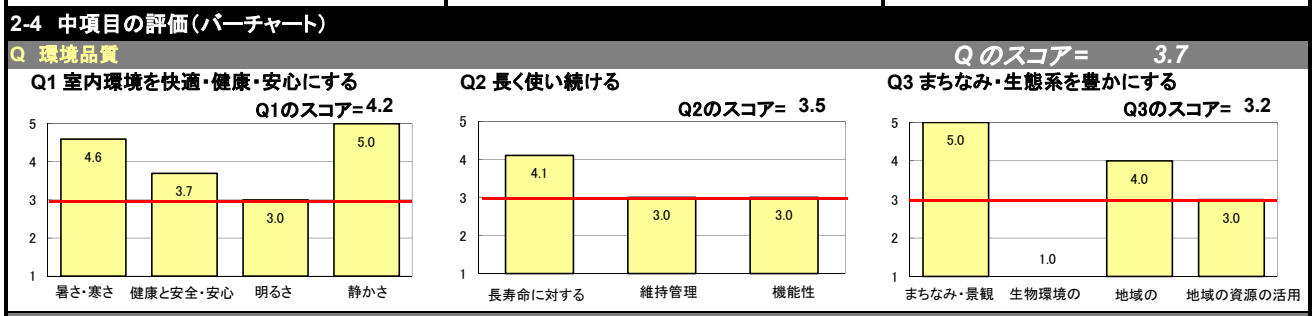
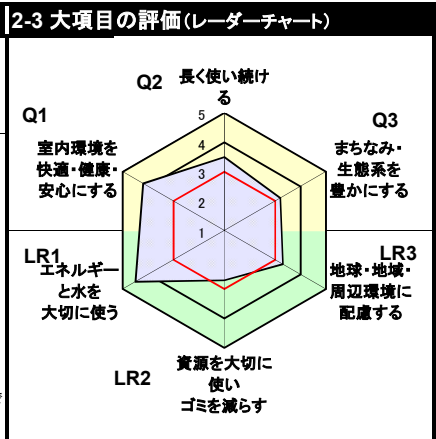
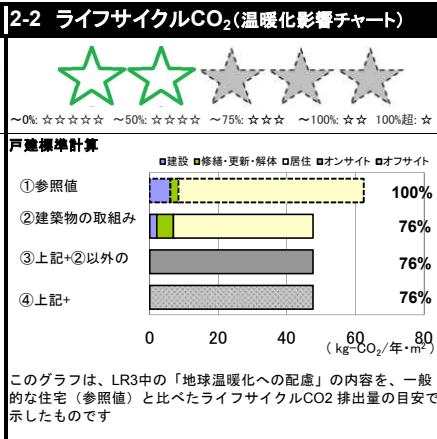
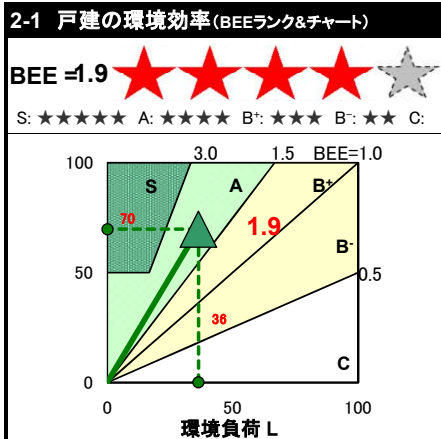
評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2014年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2014v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	江古田の家 新築工事		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 一部確定 確定
竣工年月	2016年5月	竣工	〈備考〉		
建設地	東京都中野区				
用途地域	第一種住居地区	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造軸組工法	確定			
階数	3階				
敷地面積	53 m ²	確定	評価の実施日	2016年5月22日	
建築面積	32 m ²	確定	作成者	丸山 晃寿	
延床面積	88 m ²		確認日		
世帯人数	5人	確定	確認者		



3 設計上の配慮事項

<p>総合 都市部の一戸建ての住宅である本計画は、周辺環境との距離感を考慮する必要がある。そういった環境の中で、いわゆる「高断熱・高気密住宅」を目指した。高断熱はエネルギー問題に、又、高気密は都市部で問題となる空気汚染や騒音などの問題解決に寄与した。高断熱は、「疾患症状の改善がみられる」と言われるトップランナー基準以上の断熱性能とした。</p>	<p>その他 「建物性能の向上に努めることは、地球環境にも又住まい手にも必要な事だ」ということを意識しながらの設計とした。また、打合せを重ねる中で、本住まい手にも共通認識として徐々に伝わっていった。</p>	
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 目指すべき外皮性能(UA値0.56)を見据え、費用対効果のよい断熱材を選択した。屋根断熱は、施工精度を考慮しセルローズファイバー吹込みを選択することで、性能と品質を満たしている。サッシは、高性能樹脂サッシを採用し、外皮性能向上に一役買っている。</p>	<p>Q2 長く使い続ける 耐震等級2相当・劣化対策等級3相当など、長期優良住宅と同程度の品質とした。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 塀などを設けず、見通しのきくオープンな外構とした。狭小敷地ながら、一定の植栽スペースも確保した。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う 外皮性能を上げることで、冷暖房負荷低減に考慮した。また、水栓等は節水タイプを使用し節水に努めた。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 主だった取り組みはなし。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 主だった取り組みはなし。</p>